

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2023年11月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2023年11月10日～11月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 127社
- 回収率 63.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の11月の状況を見ると業況DIは、前月より1.6ポイント悪化の▲19.7となった。

2017年9月以来75ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲19.7、当月と比べ横ばいが見込まれる。

旭川市全産業DI値（前年同月比）の推移

	2023年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2023年12月～ 2024年2月
業況	▲19.4	▲16.0	▲14.6	▲14.0	▲18.1	▲19.7	▲19.7
売上	2.2	4.6	5.1	▲0.7	▲5.5	▲3.9	▲16.5
採算	▲17.9	▲17.6	▲18.2	▲12.6	▲17.3	▲17.3	▲23.6
仕入単価	▲67.1	▲65.6	▲69.3	▲63.7	▲55.1	▲60.7	▲48.0
販売単価	32.8	30.5	33.6	27.5	24.4	26.7	15.7
従業員	32.8	34.3	35.0	34.8	37.0	32.3	33.0
資金繰り	▲11.9	▲6.9	▲9.5	▲9.6	▲9.5	▲8.7	▲11.8

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2023年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2023年12月～ 2024年2月
建設	▲35.7	▲26.7	▲21.8	▲33.3	▲20.0	▲37.9	▲27.6
製造	▲25.8	▲13.8	▲15.7	▲3.5	▲27.6	▲21.2	▲15.2
卸売	▲9.7	▲3.1	▲10.8	▲10.0	▲6.7	▲3.4	▲3.5
小売	▲22.7	▲33.3	▲18.2	▲19.1	▲25.0	▲15.8	▲15.8
サービス	0.0	▲5.3	▲4.3	0.0	▲11.1	▲17.7	▲47.1

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・資材価格の値上がりによる利益圧迫は一巡したが、顧客への価格転嫁は資材値上げ分のみとなり、結果昨年と同程度の低水準の利益率のまま今年度は推移しそである。来年初の生コン値上げと賃上げで、来年以降も利益率は低調のままビジネスを続けることになりそうだ。（総合工事） ・昨年と比べ戸建てを中心に大幅に減少しており、今後の展望が開けないのが現状である。7～9 月期の国内総生産(GDP)速報値は、国内民間需要が際どくマイナスが並んでいる。辛うじて踏ん張っていてもいずれ限界が来るとされる。政府には経済対策を早急に実施していただきたいと切に願います。（設備・その他） ・11 月は来年度の新築物件の仕込みの時期となっているが、新築ニーズの低下と他社との競合により成果が上がっていないのが現状である。住宅価格の高騰・金利上昇及び物価高による実質賃金減少によってユーザーの支払能力が低下しており、住宅需要の減速傾向が鮮明になってきている。今後、住宅市況は緩やかに減退しながら価格の見直し機運が高まっていくものと思われるが、建築面積縮小による価格低下など対応が難しい状況である。（建築業）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・年末商材製造における人材不足(最低賃金の影響大きい)。短期求人もなかなかこない。（食料品） ・エネルギー価格の値上げ、賃金引上げによる利益の下落。（食料品） ・事業再構築補助金を活用し、新たな商品展開を始めたが軌道に乗るのに少々時間がかかっている。もう少し販路を開拓して売り上げを伸ばしたい。（家具・木材） ・仕入れは高止まりで経過しているが、新規見積もり減少が影響し指値が厳しくなっているため採算悪化が懸念される。（金属業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・今月末の全国的な寒波・降雪の影響で、防寒商品の受注が相次いだため、多少の売上の上積みができしたが、消費の落ち込みに変わりはなく厳しい状態は続くと思われる。（繊維・衣服等） ・鳥インフルエンザの為、原料である鳥が年 25 万羽入荷減少し、生産が 15～20%落ち込んでいる。天災であるのに国の援助は全く無い。（飲食料品） ・専門部課の欠員が出るため、引継ぎ等を考えると従業員の補充が急務であるが、なかなか思うように進まない。（機械鋼材） ・当月の業況は前年同期と比べ微減となるも、概ね事業計画に沿った形に落ち着くと思われる。資金等の管理費が若干増加するも経費の見直しにより吸収できる範囲である。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・11 月第 2 週目雪が降り積もり来店客が少し増えたが、気温が上昇し雪が溶けてしまうと客足がびったり止まっており大変厳しい状況。対策を打つ手がない。顧客を中心に販売し、売上確保するしかない。（衣服身回品） ・コロナ禍で落ち込んだ来客数がなかなか戻らず、売上が伸びていない。仕入れ商品も各社からの値上げで販売価格が上がっているため購入を躊躇する場面も見受けられる。（その他） ・価格帯の高い商品の販売に苦戦している状況で、売上高が減少している。（自動車）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・料亭部門は 12 月年末の売上増加見通し。（ホテル・旅館） ・ここ数年は国土強靱化計画の恩恵もあり、公共工事を中心に売上は順調に推移しているが、今後は道央圏に予算が集中すると見られ、幸先がとて不安である。（その他） ・売上は順調に上がってきている。今年の忘新年会に少し期待している。（飲食） ・観光関連需要を含め収入はコロナからの回復状況で推移してきたものの、燃料はじめ諸コスト高と人員不足により費用面での圧迫が収支回復の足を引っ張っている。これから冬期に入り需要も増加することが期待できるがコストを運賃に転嫁することは出来ず、耐え忍んでいる状況にある。運転資金に加えて借入返済のための資金も膨らんでおり当面資金面では苦しさが続く。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI7.2 ポイント悪化、採算 DI7.8 ポイント悪化、仕入単価 DI2.1 ポイント悪化、販売単価 DI0.3 ポイント改善、資金 DI3.6 ポイント悪化、従業員 DI15.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 17.9 ポイント悪化となった。業種別では、総合工事 7 ポイント、設備・その他 18 ポイント、建築業 38 ポイント悪化となった。工事受注額は昨年度よりも増加しているが、資機材・燃料・光熱費等の価格高騰により利益が圧迫されるとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI20.7 ポイント改善、採算 DI9.8 ポイント改善、仕入単価 DI8.4 ポイント悪化、販売単価 DI1.5 ポイント悪化、資金 DI2.2 ポイント悪化、従業員 DI3.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 6.4 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 10 ポイント悪化、金属窯業他横ばい、印刷・出版 30 ポイント、家具・木材 15 ポイント改善となった。円安による輸入原料価格の高止まりと値上げに伴う販売数量の減少との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI3.5 ポイント悪化、採算 DI3.3 ポイント悪化、仕入単価 DI15.2 ポイント悪化、販売単価 DI1.0 ポイント改善、資金 DI10.4 ポイント悪化、従業員 DI0.9 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 3.3 ポイント改善となった。業種別では、その他 14 ポイント悪化、機械鋼材横ばい、繊維・衣服等 13 ポイント、食料品 10 ポイント改善となった。祭事等のイベントが復活しつつあるが参加費・経費の高騰で採算が悪化している。創意工夫を行い喜んで頂きたいと思っているとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI0.8 ポイント悪化、採算 DI6.3 ポイント悪化、仕入単価 DI8.1 ポイント悪化、販売単価 DI17.1 ポイント改善、資金 DI20.0 ポイント改善、従業員 DI3.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 9.2 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、自動車 7 ポイント悪化、衣料品、食料品横ばい、その他 29 ポイント改善となった。仕入価格(値上がり)の上昇により売上高は増加。課題は単価上昇による買上点数の落ち込みとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI4.2 ポイント悪化、採算 DI11.1 ポイント改善、仕入単価 DI13.4 ポイント改善、販売単価 DI5.0 ポイント悪化、資金 DI10.8 ポイント改善、従業員 DI8.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 6.6 ポイント悪化となった。業種別では、整備業 100 ポイント改善、理美容・クリーニング、運送横ばい、ホテル・旅館 50 ポイント、その他 8 ポイント、飲食 58 ポイント悪化となった。売上は順調に上がってきている。今年の忘新年会に少し期待しているとの声も寄せられている。</p>